

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2022年度4次隊栃木県各自治体への表敬訪問

国際協力機構（JICA）は、4月～5月に栃木県から2名のJICA海外協力隊員を2022年度4次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり栃木県副知事及び市長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、栃木県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸いです。

1. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
栃木県 副知事 末永 洋之	2023年3月17日（金） 11:00～11:15 特別会議室2	同県 JICA 海外協力隊員 2名 館野 眞歩、渡邊 悦子
野木町 町長 真瀬 宏子	2023年3月24日（金） 13:30～13:45 公室	館野 眞歩
矢板市 市長 齋藤 淳一郎	2023年3月17日（金） 15:30～16:00 市長公室	渡邊 悦子

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	たての 眞歩 館野 眞歩	コミュニティ開発	マダガスカル	アナラマンガ県農業・畜産局
【活動内容と抱負】 マダガスカルでは、任地の農村で住民の生活向上のための活動に従事します。「地域の方々と共に」という気持ちを大切にし、マダガスカルの地でも活動地域の皆さんと一緒に、社会を変える活動に取り組んでいきたいと考えています。				
海外協力隊	わたなべ えつこ 渡邊 悦子	環境教育	インドネシア	ジョグジャカルタ特別市環境局
【活動内容と抱負】 海外旅行が好きで機会があればどこかの国で生活してみたいと思うようになり、それならばただ滞在するのではなく何か現地の人々の役に立つことができなかと考え、JICA 海外協力隊に応募しました。 ボランティアで環境に関する活動を行っていたので、その経験を開発途上国の生活向上に生かしたいと思っています。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。
<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 栃木デスク 熊倉 百合子
TEL : 028-621-0777
(栃木県国際交流協会内)
E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp